



発行  
浮田地区コミュニティ会議  
電話&FAX  
0198-42-1681



昭和30年頃の中内中学校です。生徒の様子や保護者が待っている様子から、卒業式と思われます。

4月9日の、「浮田地区コミュニティ会議総会」にて前年度の活動、新年度事業計画共に代議員の皆さんの審議で会長再任も合わせ可決して頂きました。

一期目は、新型コロナウイルスに一緒に就任した感じで、各行事が延期、中止。時には浮田振興センター閉鎖措置と、なかなか年間行事等が消化されない活動は、私以上に事務局員が一番苦労されたと思われまます。

新年度は、前年度同程度の計画ですが、またどこかで調整・中止せざるを得ない事を加味し、都度ご案内いたしますので、皆さんもそんな中でやはり気にな



再任されました  
宜しく

裸木からの葉の芽吹きと展開は毎春の愉しみ。木によってかたちも色合いも独特。手のようにも鋒先のようにも見えるマユミ、柔らかな風合いと豊かな色合いのコナラ。今春初めて出会ったビロウドツリアブ。  
絵・文(実)

行事「芸農まつり」の開催です。花巻市のレベル規制が解除されない限り危ういところも有りますが、まだ時間が有りますので、小売状態に成る事願うのみです。

浮田地区は人口減が続き少子高齢化は、避けがたい状況下ですが、浮田地区に魅力を感じて移住される方が近年少数あり、安堵しております。浮田コミュニティでは、移住された方々へも情報提供・交流等していければと、思っています。

この便りが届く頃浮田地区の水田は、水が張られ幾何学模様が描かれた水田でしょうか。

末尾となりましたが、今期も宜しくお願い致します。  
(会長)



定例総会



4月9日に浮田地区コミュニティ会議の定例総会が開かれ、各地区から選出された代議員出席のもと、すべての議案が原案通り承認されました。

またコミュニティ会議の構成員数については世帯数減少の実態に合わせて見直すこととなり、代議員数は浮田自治会11名を8名に中内自治会5名を3名に毒沢自治会4名を3名にとりました。

さらに理事となる各部会長の選出については、部会の中でスムーズに決まらないう場合、輪番制を提案させて頂きたいという事を申し合わせ事項として確認されました。  
(多)

新役員紹介  
(浮田地区コミュニティ会議)

「引き続きです。コロナが落ち着いたら、心置きなく大声で笑いたい!」



千田 浩志  
筆頭副会長

「今年から中内第四行政区長を務めます。よろしくお願います」



佐々木 龍雄  
副会長

「地域の皆さんが少しでも楽しめるコミュニティ活動を進めたいと考えます」



千葉 和弘  
副会長

「宜しくお願ひ申し上げます」



菊池 良治  
地域づくり部長

「皆さんと一緒に、協力しながら頑張りたいと思います」



千葉 真由美  
福祉生活部長

「よろしくお願ひ申し上げます」



日下 宏明  
生涯学習部長

「魅力ある地域づくりのため、微力ながら頑張ります」



藤井 輝雄  
事務局長

「早くコロナが終息して欲しい。よろしくお願ひします」



平野 牧子  
理事

「今年こそはいろいろな事業を予定通り行える様にと思っています」



昆 幸子  
理事



振興センター庭の  
フデリンドウ

「コロナに負けない『結の里』を目指して頑張ります。よろしくお願ひいたします」



日下 明久美  
理事

「初めての事なので、色々教えてもらいながら、力になれるよう勉強して行きま



宮川 久子  
理事

「惚けが始まり、この神のおぼし召しには逆らえないので、皆様に教えられながら努力します」

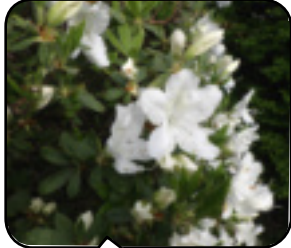


小菅 茂吉  
監事

「この会議は、地域の特色を活かした活動を展開しています。多くの皆様の参加を期待いたします」

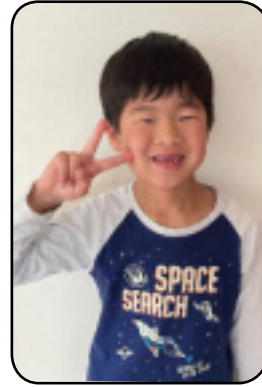


佐々木 雄孝  
監事



振興センター  
庭のツツジ

# おめでとー！ ピカピカの一年生



大上 滉之助くん  
①卵かけごはん  
②運動会  
③警察官  
④とにかく元気いっぱい遊んで欲しいです。(郁)

## 思い出の写真募集！

コミュニティ会議では、8月27日(土)に「Do田舎(どいなか)☆サマーフェス」を計画しています。「地域に賑わいを作る。コロナ禍のため希薄になりつつある交流を取り戻す」という目的で、地域のエンターティナーなどによるライブや思い出のスライドショー上映を予定しています。そこで、スライドショーで上映する写真を募集しま



質問  
①好きな食べ物  
②小学校で楽しみの事  
③大きくなったら何になりたい？  
④お母さんから一言

落合康大くん  
①すいか  
②凶工の時間  
③大工さん  
④学童にも行っているの、お友だちなどの関係性がこれまでもとは比べものにならない位増えました。毎日ヘトヘトになるので、毎日帰ってくるので。「色々な人との関わりを楽しめる所があるんだなあ」と発見がありました。(多)



例えば表紙の写真や右のような写真を募集します。(多)

## リレーエッセー

### 住めば都

私は「ポツンと一軒家」というテレビ番組をよく観る。毎回驚くような人里離れた不便な所が放送される。住人は高齢な方が多いが、そこに住む事情が番組スタッフとの掛け合いと鮮やかな映像で丁寧な作り上げられていて、引き付けられる。しかし、私が放送された場所では生活出来るかと言われると甚だ疑問である。番組は懸命に生きる姿を追っている。浮田を見直すキツカケと捉えると益々興味深くなる。便利さを追い求めればきりが無い。街には車があればすぐ行ける。若者子供もいて自然もある。多少の不便は隣や地域の助け合いで補い、充実した田舎暮らしが出来る。私の一番落ち着く所は、生まれ育ったこの場所だ。(浮田 多田 辰雄)

## ゆるゆると カントリーヘッジ (羊の生垣)

厳しい寒さの冬だった。降り積もった雪が融けずに凍っていくと私の力では動かせなくなる。10cmも積もれば雪かき。こまめな雪かきを必要とした冬は、春を待つ気持ちがいっつもよりさらに強くなった。待ち望んだ春は寒暖の差が大きく振れる。突然の夏日にびっくりしたり、セーターを必要とする寒さに震えたり：4月29日の夜、雪が降った。2、3日前から冷えこみ、寒気がする程の寒さに暖房をつけた。朝方屋根の雪が落ちる音。いつもの春はない春は、芽吹かない枝の多い立木が目につく。たくさん花をつけたアケビは、次世代のことを憂いている？小さな変化を見続けよう。私ができることを見つけよう。さくらんぼの花が満開の日、訪れたミツバチたちの羽音を聴いた歓び、決して失いたくはない。(山本 実紀)

# 事務「局遊だ報より」

○今年度の浮田地区コミュニティ会議も動き始めました。年度当初にあたり、3つの専門部会で話し合いが行われ、それぞれが特色ある活動を展開してゆきます。

また、三部会をまたいだ共通事業として、「浮田地区芸農まつり」も今年度こそは開催したいと考えています。

以下、各部会で行う事業の紹介と、部員を敬称略で紹介します。

### ○地域づくり部

「震災復興研修Ⅱ陸前高田方面」「公民館修繕等への支援」「交通危険箇所立木等伐採作業」「薪活用推進事業」ほか

▽阿部千秋、昆聡志、平野仁、日下一也、菊池良治

(以上浮田) 昆正、日下清博、藤井輝雄(以上中内)

平野敬、岩田浩美、平幸治(以上毒沢)

### ○福祉生活部

「ホッとするサロン」「安心入院セット配布」「寝たきり老人等へのおむつ給付」「地域内除雪互助支援」「かんたん料理教室」「先進地研修Ⅱ軽トラ市」ほか

▽日下一也、日下明久美、坂本恵子、多田はるえ、多田りう子、日下信子、小田島厚子(以上浮田) 佐々木郁子、粒針秀子、千葉真由美(以上中内) 小菅和子、平野洋子、藤井茂、小原清貴、小田島千恵子(以上毒沢)

### ○生涯学習部

「写経・写仏教室」「移動研修Ⅱ国見山廃寺跡」「物見山・種山トレッキング」「星空観察会」ほか

▽平野和男、伊藤一昭、日下宏明、小菅善昭、日下牧子(以上浮田) 佐々木壽、佐々木次男(以上中内) 千田豊、平野恵司、小原清貴

(以上毒沢)

○令和2年3月をもって閉園となった旧浮田保育園について、地域内の主だった団体等にアンケートを行い、花巻市役所の担当課に結果を報告したところです。建物の概況については①園舎の屋根に錆が見られる。②トイレは汲み取り式。③水道設備は漏水等で使えない。など。アンケート結果では「建物は市に取り壊してもいい、広場や駐車場として活用をしたい」との回答が85%。その他の意見としては「振興センターを新しく建設」「古民家を移設して体験住宅として活用」などありました。市では改築や新築は考えていない(考えられない)との解答を頂いております。しかし「更地にする場合であっても最短で3年ほどかかる」との話であり、地域での広場の活用を提案し更地化を早める活動をするべきではと考

えております。(輝)

## 編集後記

集まるナ！近づくナ！大声出すナ！検温とマスクに手指消毒。

令和元年12月、中国を端緒とする新型コロナウイルス感染症は、私たちの日常生活を一変させました。

各地の祭りや恒例イベントも軒並み中止や延期、縮小を余儀なくされています。

浮田コミュニティ会議もその例外では無く、2・3年度の事業の大半は何らかの対策を迫られながらもなんとか実施されてきました。

そんな中での新年度、本紙編集委員会では新人4人を迎えた新委員の選任が行われました。

「出来ない」を「どうすれば出来るか」に視点を変えながら、地域の話題も増枠して、皆様に読んでもらえる「結いの里便り」をお届けできる様、委員10人は決意を新たにしました。取材に伺った際は、よろしく願います。(浩)



題字  
千葉 稔 (下浮田)